

学会主導の新型コロナウイルス感染症に対する漢方薬の臨床研究について

— 研究支援募金のお願い —

2020年11月1日

一般社団法人日本東洋医学会 会長 伊藤 隆

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は国内では2020年初めから蔓延が始まりました。いくつかの薬剤の有用性が報告されていますが、未だ決定的に有効な薬剤は見出されておられません。

漢方薬には、古くから幾多の感染症に対して用いられてきた歴史があります。比較的最近の研究では、麻黄湯（まおうとう）に抗インフルエンザ薬にひけを取らない臨床効果のあることが立証されています。私たちは、COVID-19に対する漢方薬の臨床効果を科学的に証明することを目的に、学会として臨床試験を準備してまいりました。

臨床試験には多額の研究資金が必要です。今回、幸いに複数の企業より援助を得ることができましたが、なお不足しているため、学会員だけでなく、一般の方々へもご支援をお願い申し上げます。

この研究プロジェクトは、COVID-19に対する臨床効果を通じて、国民と政府が現代医療における漢方医学の有用性を認識することに貢献いたします。

なにとぞ、この趣旨にご賛同いただき、一口1万円（団体5口以上・個人1口以上）のご支援の募金をよろしくお願い申し上げます。

現在、COVID-19に対する漢方薬の効果を検討する3研究が進行中です [特別ワーキングのピラ参照]

- | | | |
|------------|-----------------------|----------|
| 1) 後向き症例登録 | COVID-19患者への投薬実態調査 | (東北大学担当) |
| 2) 前向き介入 | COVID-19患者への治療効果 | (東北大学担当) |
| 3) 前向き介入 | 医療従事者へのCOVID-19発病予防効果 | (千葉大学担当) |

記

募集開始時期 2020年11月1日からから2021年3月末（予定）

寄付金振込先 三菱UFJ銀行 日本橋支店

普通預金 0617585

口座氏名 いっぱんしゃだんほうじんにほんとうよういがつかい
一般社団法人日本東洋医学会

以上

日本東洋医学会特別ワーキングの活動に関して

COVID-19 に対する漢方薬治療の効果検証プロジェクト

2020. 10. 16

背景: 中国では COVID-19 に西洋医学に伝統治療薬(中薬)を併用して、大変効果があったとの報告がある

目的: 日本の漢方薬での効果の科学的効果検証をする

(なお、漢方薬名は試験に影響するため、未公開です)

3つの臨床研究(開始または準備中)

1. 前向き試験—軽症から中等症の新型コロナウイルス感染症に対する併用治療

2. 後向き症例集積—終息後に新型コロナウイルス感染症に使った処方解析

3. 予防試験—新型コロナウイルス感染症の漢方薬での予防効果の試験



皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。